

平成28年度 防衛大学校入校式
防衛大学校長式辞

本日、桜咲き誇るこの小原台の地で、平成28年度防衛大学校入校式が開催のはこびとなりました。本年度は、新たに本科第64期493名、理工学研究科前期課程46名、同後期課程9名、及び総合安全保障研究科前期課程13名、同後期課程1名の学生諸君を迎えることができました。

今年も、名誉なことに、本校はアジア諸国から数多くの留学生諸君をお迎えいたしました。本日入校するのはカンボジア王国、タイ王国、大韓民国、東ティモール民主共和国、フィリピン共和国、ベトナム社会主義共和国、ミャンマー連邦共和国、モンゴル国、およびラオス人民民主共和国からの留学生諸君です。

すべての新入生諸君に対しまして、本校を代表して、心よりお祝いと歓迎の意を表します。

新入生諸君、入校おめでとう！

本日の入校式に当たり、若宮健嗣副大臣をはじめ多数のご来賓、そして全国から数多くのご家族・ご親族のご臨席を賜りました。ご参列のすべての皆様方に対しまして、本校を代表して、厚くお礼を申し上げます。

本年度の入校式には、本校の第1期から第4期までの平均年齢80歳の卒業生の方々がご家族を含めて170名近く参列されています。今年の新入生とは60年以上の年齢差があることになります。防衛大学校では、従来、卒業式に、ホームカミングデーとして、卒業43年目の65歳平均の方々をお招きしています。先月の防大の卒業式にも、卒業43年目を迎えた防大第17期の卒業生の皆様方をお招きいたしました。今年からこれに加えてホームカミングデー・ツーとして、入校60周年を迎えた先輩方を入校式にお迎えすることとなりました。今年度はその第1回目として、まず第1期から第4期までの卒業生の方々をご招待させていただきました。昨日、卒業式の御礼に安倍総理に面会をさせていただきましたが、その折皆様方にくれぐれもよろしくお伝えくださいといということでした。

保安大学校の時代から、大きな志とプライドをもって防衛大学校の基盤づくりに尽力され、今日の繁栄の土台を築かれた第1期から第4期の大先輩の皆様、盛大

な拍手をお願いいたします。おかえりなさい。

防衛大学校は第二世界大戦後、自由と民主主義の価値観のもとで新たに誕生した自衛隊幹部養成のための士官学校であります。本校は、陸海空が共に学び、理系と文系が混合融合し、大学院レベルまで備えた高等教育機関です。同時に本校は、訓練、学生舎生活、校友会などを通じて、真摯で清廉な社会人を育成する人格陶冶の場でもあります。こうした教育の積み重ねの結果、自衛隊の最高幹部を輩出し続ける本校は、今日では国内のみならず世界からも注目される士官学校に成長いたしました。

このような発展を踏まえ、防衛大学校は現在、「世界一の士官学校」を目指して「新たな高みプロジェクト」と名付けられた大きな変革の途上にあります。本日の入校式に際して、本科・研究科の新入生諸君と第1期から第4期までの卒業生の皆様に対して、その一旦を簡単にご紹介したいと思います。

教育についていえば、学生の将来資質の伸展性を考慮し、昨年度、教養教育センターを設立いたしました。このセンターでは、将来の高級士官としてふさわしい教養を備えるべく、学科を横断した基礎的科目を多く設置し、科学・歴史・文化・現代的課題に関する講座や講演会等を企画し、同時に読書の習慣を身につける指導をしております。ちなみに先月は坂東玉三郎さんにお越しいただきました。また、外国語能力の向上、とりわけ英語能力の向上に関しては最重点項目としております。

国際交流についていえば、昨年防大では国際交流センターも設置いたしました。現在、本校では多数の留学生の受け入れと学生の長期・短期の海外派遣を行っております。また毎年、学生レベルでは国際士官候補生会議（ICC）、幹部クラスでは国際防衛学セミナーを、海外から多くの学生、士官を招いて開催しております。海外の要人による本校視察も近年非常に増加しております。

訓練についていえば、「新たな高みプロジェクト・訓練編」が昨年実施に移されました。一言でいえば、それは威圧的指導によらない学生間指導の試みであり、また学生の「自主自律」を高めるための新たな試みであります。現在、本科の学生諸君には以前に比べて自由な時間を増やしました。それを自己開発のためにどう有効に使うか、それが一人一人の学生諸君に問われています。

研究についていえば、今月から新たにグローバル・セキュリティ・センターが発足いたしました。防大の教官スタッフの学術研究は、理系・文系を問わず非常に多岐にわたっており、その水準は国内でもかなり高いレベルにあります。しかし、これまで多様な研究分野をつなぐ研究所が防大にはありませんでしたし、国際共同研

究を進めるための受け皿も十分ではありませんでした。これらの課題を打ち砕き、将来の防大の顔となりうるような研究機関としてグローバル・セキュリティ・センターが設立されたのです。

これら以外にも、「輝く女性プロジェクト」、部活動にあたる校友会の諸改革、カッター競技会や棒倒しなど、11にのぼる大隊別競技会の再構成と年度最優秀大隊の設置、より時代にマッチした研究科の再建構想など、防大はまさに伝統の重みを基礎にしながらも、着実に前進を続けています。新入生諸君は、与えられるだけの受動的な存在ではなく、われわれ教職員とともに防大のより良き未来を創り上げていく主体的な存在になってほしいと思います。

冒頭に申し上げたように、本日の入校式には草創期の防衛大学校に学ばれ、戦後の日本の平和と安全を守りぬかれた勇者の方々にお越しいただきました。防衛大学校はこうした先輩たちの熱き思いを今日までつなぎ続け、今年もまた志ある有為な若者たちを小原台に迎えることができました。

新入生諸君の防衛大学校への入校を、改めて喜びたいと思います。
新入生諸君入校、おめでとう！

平成28年 4月 5日
防衛大学校長 國分 良成